青森県立三沢高等学校　　平成29年度 第2号

生徒支援部通信

◎高校総体結果報告！
～男子ホッケー部念願のインターハイ出場～

第70回青森県高等学校総合体育大会が県内各地で行われました。先陣を切って行われた陸上競技では昆佑香さん(3-2)が三段跳びで第２位の快挙！東北大会に出場しました。また、横濵春菜さん(1-5)が5000m競歩で６位入賞し、今後が楽しみです。

団体競技では、女子バレーボール部が弘前学院聖愛高校の13連覇を阻止し、第３位に入る健闘をみせました。なお、ベスト８にはソフトボール部、女子バスケットボール部、女子ソフトテニス部、女子バドミントン部が進出し、三沢高校の部活動のレベルが確実にアップしてきていることを証明してくれました。

さて、ここまでの結果を見ると、女子の好成績ばかりが並んでいます。そのような中、男子ホッケー部が東北大会で第３位になり、17年ぶりにインターハイへの出場を決めました。今年は南東北インターハイということで山形県で開催されます。ぜひ三沢高校旋風を巻き起こして欲しいと思います！

ホッケー部主将坂本洋一君(3-4)から一言！

今回の勝因は、１人１人が「考える」　ことをしたからだと思います。考えて練習し、なぜ失敗したのか、なぜうまくいったのか、今の判断は間違っていたのか、毎日毎日考えながら練習してきました。指導されることばかりでなく、自分で考えることをができたから結果がついてきました。インターハイではしっかり考えながらプレーし、ひとつでも多く勝ってきたいと思います。

陸上部昆佑香さん(3-2)から一言！

今回の高校総体を通して感じたことは、周りからのアドバイスを大切にするということです。私が自己ベストで東北大会に出場できたのも、顧問の小林先生をはじめ、三沢一中陸上部コーチ、木ノ下中陸上部顧問の方々の助言、指導のおかげです。だからこそ最後の大会を良い形で終えることができました。本当にありがとうございました。これからは第一志望の大学に合格する夢を実現するためにも周りの方々のアドバイスをよく聞き、頑張っていきます。

陸上部横濵春菜さん(1-5)から一言！

高校に入学してから競歩を始めた私にとって、高校総体はデビュー戦でした。スタート前は緊張と不安でいっぱいでしたが、レース中は楽しむことができました。結果は６位入賞！応援してくれた仲間や先輩、指導してくださった小林先生には感謝しています。順位もタイムもまだまだで、課題も見つかりました。今後は初心を忘れず、一から鍛え直して、来年の高校総体では東北大会に出場したいです。

女子バレーボール部主将山端佐季さん(3-5)から一言！

まずはじめに、応援に来てくださった先生方、３年生、野球部の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの応援はとても心の支えとなりました。結果はベスト４でしたが、最後まで全員で楽しくバレーができました。特に聖愛戦は三沢高校女子バレーボール部が一丸となり、会場全体を沢高カラーに染めたと思います。後輩達には３年生の思いを継いで目標を達成して欲しいです。最後に、浪打先生、尾﨑先生、晴山コーチ、ご指導、サポートありがとうございました。

◎三沢高祭！～思い切り盛り上がりました！

例年にない暑さの中、三沢高祭が行われました。生徒会、文化祭実行委員会の企画運営の元、全校生徒が一致団結！素晴らしい文化祭となりました。来校者数も日曜日2694人、月曜日920人と驚きの数になりました。３年生にとって最後の文化祭はとても思い出に残るものとなったでしょう。また、主張大会、のど自慢で1年生が優勝と新しいパワーを感じた三沢高祭でした！

のど自慢優勝の工藤帆乃佳さん(1-5)から一言！

今回はのど自慢と「No title」というバンドで出場しました。予想以上の反響にメンバーも歓喜の色を隠せないようでした。「良かった」「ありがとう」と言ってもらえる時が、努力が報われたと感じる瞬間でした。思い出深い文化祭を創ってくれた仲間に心から感謝しています。